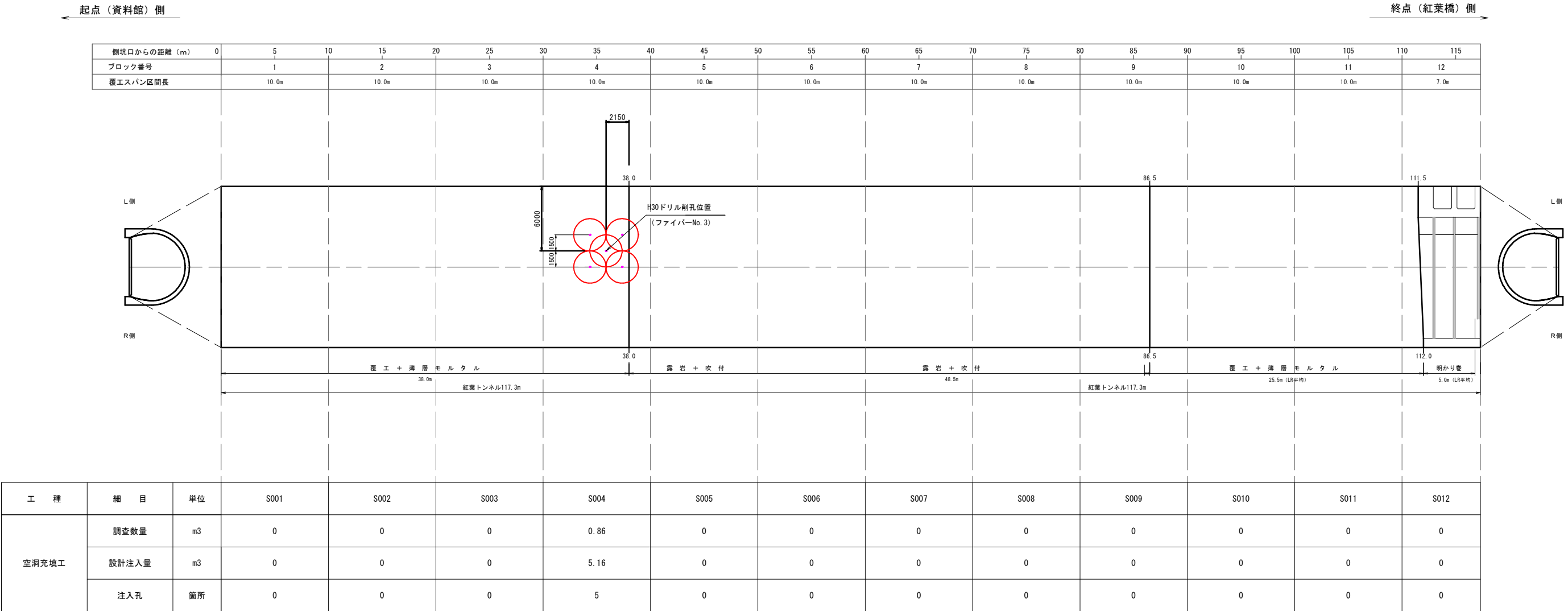


紅葉トンネル 空洞充填工展開図

S=1：200



区間	覆工No	追加距離 (m)	区間距離 (m)	設計注入量 (m3)	注入孔 (本)
1	S004	32.85～ 38.0	5.15	5.16	5
合計			5.15	5.16	5

- ※ 1 本工事の注入孔はH30定期点検で空洞が確認されたドリル削孔位置（ファイバーNo. 3）を中心に5箇所設定している。  
注入孔は1.5m間隔を標準とするが、先行して中央の注入孔を削孔し、残りの注入孔は背面状況に応じて適宜調整すること。
- ※ 2 調査数量はH30年定期点検成果より抜粋。成果はトンネル上半をA～Dの区間に分けて空洞量を算出している。  
本工事は左アーチでの施工となるため、調査数量はCLより左側に位置するAとB区間の空洞量の合計している。
- ※ 3 本トンネルは素掘りによる施工のため、地山の凹凸が激しくH28年工事実績と調査数量に乖離が大きくてた。  
よって、本工事の設計注入量はH28年の工事実績を基に、調査数量の6倍を想定している。

路線名	県道259号		
紅葉トンネル			
図 名	空洞充填工展開図		
位 置	神石高原町		
縮 尺	1:200	単 位	m
図 号	全 2	表中の内	1
平成	年度施行		広島県
神石高原町 建設課			